

はじめに

本市は、海拔0メートルから世界文化遺産富士山までを市域にもつ、日本で唯一のまちであり、温暖な気候や豊富な地下水、交通の要衝としての利便性を生かし、県東部の中核的なものづくりのまちとして発展してきました。

現在、人口減少や高齢化に伴う人口構造の変化をはじめ、グローバル化やデジタル技術の進展などにより社会環境や生活様式が大きく変化しており、時代の変化を捉えた持続可能なまちづくりが求められています。

このような中、本市が活力と魅力あふれるまちとして発展しつづけるためには、第六次富士市総合計画の基本目標の一つとして掲げている「次代を担うひとを育むまち」となる必要があります。

本市はこのたび、新しい未来、輝く明日を自ら創り出し、輝いている人、そのような「ふじの人」を育成することを「ふじの教育」の基本目標とし、第二次富士市教育振興基本計画を策定しました。本計画は、教育の目指すべき姿と施策の方向性を示す本市の教育全般に関わる総括的な教育に関する基本計画であるとともに、地方公共団体の長が定める「教育に関する大綱」に位置付けております。

子どもは次代を担う宝です。教育の目的は、人格の完成と社会の形成者の育成と教育基本法に明記されており、このことはいかに時代が変わろうとも普遍的なものであります。

子どもたちが広がる未来に羽ばたいていけるよう、急激に変化する社会において、生きる力を育むことが大切です。

日本一の頂を持つ富士山に見守られながら、市民一人ひとりが希望を実現し、富士山とともに輝く未来を拓くまちにふさわしい「ふじの人」づくりを推進してまいります。



富士市長 **小長井 義正**